

鬼越の森再生プロジェクト



メンバーは10代から70代

100年後の未来を見据え、山形市岩波地区（大字岩波字鬼越）の住環境を取り巻く放置林を整備し直すことによって、自ら再生し続ける自然の雑木林を作っている。これにより人とそれ以外の種が調和した、持続可能で豊かな里山暮らしを目指している。

2022年活動内容

4月 道づくり、講習会

5月～11月 間伐、玉切り、薪づくり、交流会

6月～9月 下刈り

「安全に楽しく」を心がけて年に数回活動しています。10代から70代が参加しています。間伐した木を玉切りにし、運んで、薪割り機で薪にします。自然の中で身体を動かし、外でみんなでご飯を食べます。作った薪は自由に好きなだけ持って帰ることができます。

* 活動の感想 *

「ぐったり疲れるけれど楽しい」「環境のためにもなるし、働いた後のご飯が美味しい」「いろいろな年代の人がいて話もできるし薪ストーブなので助かります」との感想をいただいています。最初は15人ほどの参加でしたが、段々と増え、延べにして100名を超える参加者となりました。

